

令和3年6月
関西広域連合議会臨時会

報 告 書

令和3年7月9日

関西広域連合議会議員 井 川 龍 二
同 山 西 国 朗
同 浪 越 憲 一

議 事 日 程

令和3年6月26日(土)

午後1時開議

- 第 1 諸般の報告
- 第 2 議席の指定及び変更
- 第 3 副議長選挙の件
- 第 4 会議録署名議員の指名
- 第 5 会期の決定
- 第 6 選挙管理委員及び補充員の選挙の件
- 第 7 議第1号議案
- 第 8 第8号議案（広域連合長提案説明）
- 第 9 第8号議案（監査委員の選任について同意を求める件）
- 第 10 一般質問

議第 1 号議案

関西広域連合議会会議規則の一部を改正する規則制定の件

関西広域連合議会会議規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和 3 年 6 月 26 日提出

提出者 関西広域連合議会議員

海 東 英 和
林 正 樹
松 浪 ケンタ
北 川 泰 寿
小 林 誠
中 本 浩 精
島 谷 龍 司
井 川 龍 二
中 村 三之助
上 田 智 隆
水ノ上 成 彰
守 屋 隆 司

関西広域連合規則第 号

関西広域連合議会会議規則の一部を改正する規則

関西広域連合議会会議規則（平成 23 年関西広域連合議会規則第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条中「出産」の右に「、育児、介護」を加え、「事故」を「やむを得ない事由」に改め、同条に次の 1 項を加える。

2 前項の規定にかかわらず、議員が出産のため出席できないときは、当該出産の予定日の 6 週間（多胎妊娠の場合にあっては、14 週間）前の日から当該出産の予定日（議員が出産したときは、当該出産の日）後 8 週間を経過する日までの範囲内で、出席できない期間を明らかにして、あらかじめ議長に届け出ることができる。

第 86 条第 1 項中「及び請願者の住所」を「並びに請願者の住所及び氏名」に、「所在地）を記載し、請願者（法人その他の団体にあっては、その名称を記載し、代表者）が署名又は記名押印を」を「所在地及び名称並びに代表者の氏名）を記載」に改める。

第 88 条第 3 項中「連署」を「連名」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

第 8 号議案

監査委員の選任について同意を求める件

次の者を監査委員に選任したいから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第196条第1項の規定により、同意を求める。

令和3年6月26日提出

関西広域連合長 仁 坂 吉 伸

関西広域連合議会議員のうちから選任する者

八 重 樫 善 幸

令和3年6月臨時会 質問項目一覧

府県市	質問者	質問時間	質問項目
1	大阪府 松浪 ケンタ 議員 (一問一答)	10分	1 ワクチン接種証明書の発行について 2 狩猟者登録の事務の一元化について
2	大阪府 三田 勝久 議員 (一問一答)	10分	1 中小企業等の海外ビジネス展開支援について (1) アフターコロナを見据えたウィズコロナでの取組について (2) ビジネスサポートデスクの共同利用の拡充について 2 新型コロナウイルス感染症の今後の対応について (1) ワクチンの効果的な接種策について (2) アフターコロナを見据えた広域連合の戦略について
3	大阪市 上田 智隆 議員 (一問一答)	12分	1 新型コロナウイルスにおける感染症対策について 2 ワールドマスターズゲームズ2021開催に向けて 3 感染症医療への取り組みについて
4	堺市 吉川 敏文 議員 (一問一答)	8分	1 アフターコロナにおける関西観光の将来像について (1) 「新・関西観光・文化振興計画(仮称)」の検討状況について (2) アフターコロナにおける関西観光のあり方について
5	兵庫県 中野 郁吾 議員 (一括)	10分	1 新型コロナを踏まえた「関西防災・減災プラン感染症対策編」の改訂について 2 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた取組について
6	兵庫県 岸本 かずなお 議員 (一括)	10分	1 関西広域連合の今後の展開について 2 新型コロナに対する広域連合としての取組について 3 ドクターヘリの運航推進について
7	神戸市 大澤 和士 議員 (一問一答)	8分	1 関西広域連合での感染症対応の強化 2 関西広域連合のデジタル化推進に向けて
8	京都府 渡辺 邦子 議員 (分割)	16分	1 女性活躍の推進について (1) 実効性ある取組の推進について (2) 「関西女性活躍推進フォーラム」への幅広い層からの参画について 2 ワールドマスターズゲームズ2021関西について (1) 選手・ボランティアの確保について (2) 効果的な広報活動について 3 広域・テーマ別観光について (1) テーマ別観光の交流や情報発信の場づくりについて (2) インバウンド復活に向けた準備について
9	京都市 くらた 共子 議員 (一問一答)	8分	1 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 今夏のオリンピック・パラリンピックの開催について (2) 病床削減推進法について
10	滋賀県 江畑 弥八郎 議員 (一問一答)	16分	1 流域治水について (1) 「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」のこれまでの議論について (2) 「改正流域治水関連法」の淀川水系等治水対策および防災・減災対策への影響について (3) SDGsを踏まえた流域治水について 2 関西広域連合の地方創生の取組について (1) 「第2期関西創生戦略」の期末評価と今後の活用について (2) 転入・転出者数と関係人口の目標について (3) 最低賃金の引上げについて
11	和歌山県 中本 浩精 議員 (一括)	16分	1 広域交通インフラの実現について 2 「大阪・関西万博」のバビリオン出展について 3 古墳文化の魅力発信について
12	奈良県 小林 誠 議員 (一括)	12分	1 広域周遊観光の取組について (1) 広域周遊観光ルートの作成状況について (2) 広域周遊観光ルート作成に係るニーズ把握等について (3) 広域周遊観光の取組について
13	徳島県 山西 国朗 議員 (一問一答)	12分	1 関西広域連合における変異株への対応について 2 関西広域連合における人流調査の強化について

本県選出議員の質問概要

山西 国朗 議員

1 関西広域連合における変異株への対応について

(質問要旨)

関西広域連合内での感染急拡大をもたらした英国型の変異株については、各府県市において、新型コロナ対策を講じたにもかかわらず、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発出に至ったところである。

この感染を抑え込んでいくためには、関西広域連合として、変異株への対応策を確立させ、感染防止対策を強化することが急務であると考えている。

今後、変異株への対策について関西広域連合としてどのように取り組んでいくのか、決意と所見を伺いたい。

(答弁要旨)

○広域医療担当副委員（後藤田 博）

感染力が強く重症化リスクが高いアルファ株は、関西広域連合管内でも過去最大の感染者数をもたらし、病床のひっ迫など医療提供体制に深刻な影響を与え、まざまざとその脅威を見せつけたところである。

このため、関西広域連合では、感染力が強いことを示す驚異的なC t値の低さ、重症化割合の高さ、従来とは異なる若年層への感染拡大といった変異株の特性に関する情報や知見をいち早く共有するとともに、それに基づき、変異株の検査拡充への支援や水際対策の強化などの緊急提言を行った。

今般、連合管内でも感染が確認されたデルタ株は、感染力がアルファ株の約1.2倍高いとされ、今後、この変異株によるリバウンドを回避することが肝要である。

そのためには、感染が広がる初期段階でしっかりとそのルートを断ち切っていくことが極めて重要であるため、現在、構成府県市でのスクリーニング検査において、陽性が確認された段階から情報共有を図り、発生の早期探知に努め、先手で徹底的な感染の封じ込めへの取組を行って参る。

今後とも、府県市民の皆様の命と暮らしを守るために、構成府県市が一致協力し、デルタ株をはじめとした変異株のサーベイランス体制の充実・強化や、早期探知の体制づくりなどの感染防止対策に万全を期すとともに、あらゆる世代への正確な情報提供に努め、府県市民の皆様の安全・安心の確保にしっかりと取り組んで参る。

本県選出議員の質問概要

山西 国朗 議員

2 関西広域連合における人流調査の強化について

(質問要旨)

人の往来が増加する年度末から始まった第4波では、変異株への置き換わりもあり、急速な感染拡大が広域連合各地で見られた。

連合各府県の人口10万人当たりの感染者数の推移を見ると、大阪を中心に兵庫、奈良から和歌山、さらに徳島まで、同じようなカーブを描いており、まさに一つの地域として人の往来が実感されたところである。

ウイルスは人について広がるものであり、これから流行が懸念されるデルタ株、いわゆるインド株対策としても、関西全体における人流の増減を構成府県が共有し、予兆をいち早くつかむことは極めて重要と考える。

今後、第5波に備え、感染拡大防止対策の徹底を図るため、人流動向の調査を更に強化するべきと考えるが、所見を伺いたい。

(答弁要旨)

○広域防災担当委員（井戸 敏三）

新型コロナウイルス感染症は、会食を介しての飛沫による感染が主要な原因と考えられており、その会食にもつながる人での状況を把握することは、対策を行っていく上でも重要である。

広域連合では、これまでも、携帯電話の位置情報を活用した構成府県の主要駅の1週間ごとの人流動向を分析し、各府県市の感染拡大防止対策に生かしている。

本年4月からの感染拡大局面においては、特にゴールデンウィークの人出が課題であったが、緊急事態宣言が発出される直前の4月22日に本部会議を開催し、「関西・GW感染拡大防止徹底宣言」を出して、不要不急の外出の自粛などを呼び掛けたところである。

その結果、特にGW期間中の京都、大阪、兵庫における夜間の人出は、3月末から4月初旬と比べて5割程度に抑制され、大きな効果をもたらしたのではないかと考えている。

今後、夏休みやお盆の帰省・旅行などによる人流の増加も見込まれる。現在活用している主要駅の携帯電話位置情報について、昼間15時と夜間21時における日々の動向、各曜日単位や週単位での動向など、更にきめ細かく関西圏の人流動向を分析し、構成府県市で共有のうえ、必要な対策につなげていく。

なお、御指摘のデルタ株については、アルファ株と同様の対策を強化していくことが基本になるが、国から変異株に特化した対策が示されていないことから、政府に対して早く示すよう要請しているところである。

これからも御指摘いただいたような人流情報も基本としながら、感染の収束に向けて、構成府県市が一丸となって取り組んでいく。